

令和5年10月

# 厚生センターだより



栃木市生活環境部 人権・男女共同参画課 厚生センター係

## 人権啓発コーナー

### おみなえし おとこえし

長く厳しい残暑もようやく収まり、やっと秋の訪れを感じるようになってきました。黄金色の稲穂の波、あぜ道には彼岸花、青空には赤とんぼ、食卓には秋の味覚…また、秋と言えば『秋の七草』。

『はぎ ききょう くず ふじばかま おみなえし おばな なでしこ 秋の七草』  
(萩) (桔梗) (葛) (藤袴) (女郎花) (尾花) (撫子)

『春の七草』はその葉や根をお粥にして食べる食材であるのに対して、『秋の七草』は、立秋の頃から野山でよく見られる花々の植物です。『秋の七草』とした方がよいのではと思いますが…

さて、この秋の七草の「おみなえし」だけ「女郎花」と特別な読み方になっています。「おみなえし」は黄色い粒々の小さな花が集まった姿をしています。この花の名前は、黄色い粟飯（あわめし）を盛った姿になぞられています。昔、粟飯は女性が食べるご飯として「女飯（おんなめし）」と言われていました。女飯のような花の「おんなめし」が訛って「おみなえし」となり、「女」を意味する「女郎」を使い「女郎花」と名付けられました。



「女飯」があるなら「男飯（おとこめし）」や「男郎花」はどうなのでしょう。粟飯の「女飯」に対して、白米のご飯が「男飯」です。そして、「女郎花」と同種で白い小さな花を咲かせる「男郎花」という花もあります。名前の由来は「女郎花」同様、白い花を白米（男飯）にたとえ、男飯のような花の「おとこめし」が訛って「おとこえし」となり、「男郎花（おとこえし）」と名付けられました。



安価な「女飯（粟飯）」から名付けられた「女郎花」と、粟飯より高価な「男飯（白米）」から名付けられた「男郎花」、花の名前から昔の「男尊女卑」の世の中が見えてきますね。

ちなみに、「おとこおみなえし（男女郎花）」という白と黄色の花が混じる花もあります。「女郎花」と「男郎花」の自然交配種です。

厚生センターでは、生活上の各種相談をお受けしています。

お気軽にご相談ください。

(人権・生活・健康・年金に関することなどの相談に対応しています)

相談受付(電話でのご相談も可能) ☎0282(24)2444

日時: 月~金曜日(土・日・祝日は休み)

午前8時30分~午後5時15分

巡回相談 場所: 新栃木コミュニティ会館

日時: 10月16日(月) 午前10時~午前11時

